

【関門学①】

科目名	関門の自然環境とそのエネルギー	
担当者名	成富 勝、小島 治幸、宇野 美津夫	
期間	8月20日(月)～8月24日(金) 1回90分 10:40～16:10 (2時限～4時限)	
講義会場	九州共立大学 学思館 2階 1 2 2教室	
テキスト	各担当教員による資料配付。	
参考文献	必要に応じて、担当教員が授業中に紹介。	
授業内容	8/20(月)	1回 関門地域の自然環境と古環境 ～故きを温ねて新しきを知る 【成富 勝】
		2回 関門地域の音環境 ～鳥啼いて山更に幽かなり 【成富 勝】
		3回 関門地域の多様な生き物と植物 ～人間もイキモノ 【成富 勝】
	8/21(火)	4回 関門地域の環境保全 ～真に豊かな、心地よい社会を築こう 【成富 勝】
		5回 関門地域の自然災害 ～備えあれば憂いなし 【成富 勝】
		6回 関門海峡とその周辺の潮流 ～潮流はどのように起こり、どのくらい速いのだろう 【小島 治幸】
	8/22(水)	7回 関門海峡とその周辺の海岸 ～いろいろな海岸とその自然特性 【小島 治幸】
		8回 関門海峡とその周辺の干潟海岸 ～貴重な干潟海岸とその自然環境 【小島 治幸】
		9回 海に存在する波 ～いろいろな波の中で怖い波は何だろう 【小島 治幸】
	8/23(木)	10回 関門地域の自然災害 ～津波から身を守るためには 【小島 治幸】
		11回 関門海峡の再生可能エネルギー ～自然エネルギーの種類と善し悪しを考えよう 【宇野 美津夫】
		12回 河川エネルギーの利用とその可能性 ～日本の川は流れが速い 【宇野 美津夫】
	8/24(金)	13回 風力エネルギーとその効果 ～風は向かい風、追い風 【宇野 美津夫】
		14回 海流エネルギーの種類と利用法 ～海に囲まれた日本は有利か 【宇野 美津夫】
		15回 世界の海洋エネルギーの動向と関門海峡への応用 ～世界を知って地域を考えよう 【宇野 美津夫】
授業に対する準備事項	・配布した資料をよく見ておくこと。 ・新聞やテレビで知った地域や環境の情報を思い出して授業に臨めば興味が湧きます。	

【現代の教養】

科目名	健康	
担当者名	小笠原 正志	
期間	9月3日(月)～9月7日(金) 1回90分 10:40～16:20 (2時限～4時限)	
講義会場	下関市立大学	
テキスト	小笠原正志(編)「健康生活と運動」エスアイエス(2015年)	
参考文献	適宜指示する。	
授業内容	9/3(月)	1回 オリエンテーション：授業概要の説明、少子高齢化、健康づくりの必要性
		2回 疾病構造の変化・生活習慣病：感染症・生活習慣病の年次推移、生活習慣病の定義となりたち
		3回 生活習慣病と生活習慣の変化：三大生活習慣病とその発症に関わる生活習慣
	9/4(火)	4回 生活習慣病のリスクファクター1：肥満の評価法と判定基準
		5回 生活習慣病のリスクファクター2：高血圧と生活習慣との関わり
		6回 生活習慣病のリスクファクター3：耐糖能異常と生活習慣との関わり
	9/5(水)	7回 生活習慣病のリスクファクター4：脂質異常症、高尿酸血症と生活習慣との関わり
		8回 生活習慣病のリスクファクター5：肝機能障害、メタボリック・シンドロームと生活習慣との関わり
		9回 生活習慣病1：ガン・虚血性心疾患と生活習慣との関わり
	9/6(木)	10回 生活習慣病2：脳血管障害と生活習慣との関わり
		11回 健康的なライフスタイル1：適正な摂取カロリー、食事バランスガイド
		12回 健康的なライフスタイル2：健康的な食べ方・適正な飲酒
	9/7(金)	13回 健康的なライフスタイル3：運動不足と疾患の関わり、運動処方
		14回 健康的なライフスタイル4：ストレス、睡眠、行動変容の理論
		15回 全体のまとめ：到達度テスト
授業に対する準備事項	講師並びに講義等内容は、事情により変更される場合がある。軽く身体を動かすことも予定されているので、服装、シューズ等の準備が必要。詳しくは受講前に連絡する。	

※講義の順番については、担当者の都合により変更が生じる場合があります。  
あらかじめ、ご了承ください。

【関門学②】

科目名	地域文化遺産の保存・活用	
担当者名	清水 憲一(九州国際大学名誉教授)	
期間	9月10日(月)～9月14日(金) 1回90分 10:40～16:10 (2時限～4時限)	
講義会場	九州国際大学 地域連携センター	
テキスト	講義資料を配付する。	
参考文献	講義資料に掲載する。	
授業内容	9/10(月)	1回 はじめに：評価、保存、活用の「3つの視点」の意味するところ・重要性について、近年の動向(新聞記事)を通して問題提起をおこなう。
		2回 「文化遺産」とは：文化遺産について、各種施策による全般的概要(世界遺産、日本遺産、指定・登録の文化財、町並み、文化的景観、近代化産業遺産/学会の推薦遺産など)をおさえる。
		3回 歴史的背景：文化財行政の変貌。対象の拡大・深化/活用の重視。この背景にある地域経済の「疲弊化」と「再生」。つまり国・地域のまちづくり・活性化施策において、歴史文化遺産の活用が注目されるようになった要因を考える。
	9/11(火)	4回 「観光」と地域文化遺産：脱工業化の時代の産業として注目される「観光」について。観光立国推進基本法、地方創生、文化遺産の活用、「学芸員がガン」論
		5回 市民・住民運動が守ってきた：保存運動の歴史、とくに小樽運河保存運動について検討し、地域文化遺産を保存・活用することの意義を考える。
		6回 文化遺産をどのように「評価」するか：産業考古学、社会学、建築史、土木史など、そして国際基準では、どのように検討してきたか。さまざまな評価基準があり、中でも産業遺産の評価基準について問題提起する。
	9/12(水)	7回 評価のため(1)：①日本近代の建築・土木・産業の歴史、②建築・土木の「用語」と「見方・楽しみ方」の基礎を踏まえる。
		8回 評価のため(2)：①日本近代史、②地域(関門地域)の歴史(概説)を踏まえる。
		9回 「活用」の多様化：全国的な活用事例を整理する。「文化資源マネジメント」論について考える。
	9/13(木)	10回 事例(1)「明治日本の産業革命遺産」：どのように評価され世界遺産登録が実現したか。その意義と特徴について
		11回 事例(2)世界文化遺産の石見銀山：評価と活用策
		12回 事例(3)鉱山遺跡：生野、別子、足尾の鉱山遺跡とその活用策について
	9/14(金)	13回 事例(4)北九州の近代化遺産：北九州市内の近代化遺産の概要。保存運動と活用について、古河鉱業ビル、門司港レトロ事業、門司港駅舎の復元
		14回 事例(5)下関市の近代化遺産：下関市内の近代化遺産(概要)と第一別館、英国領事館、山陽ホテルの保存運動について
		15回 事例(6)田川市石炭・歴史博物館：歴史遺産(MOW山本作兵衛コレクション)の収集・保存・公開＝展示のあり方を具体的に考え、このことを通じて地域の活性化への役割を検討する。
授業に対する準備事項	具体的事例について、ある程度の概要を事前に確認してほしい。	

【会場アクセス】

九州共立大学 学思館  
北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8 TEL 093-693-3073  
JR折尾駅よりバス7分、徒歩15分

下関市立大学  
山口県下関市大学町2丁目1-1 TEL 083-252-0289  
JR下関駅よりバス25分、  
山の田または大学町2丁目バス停下車、徒歩3分  
JR幡生駅より徒歩20分

九州国際大学 地域連携センター  
北九州市八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ2階  
TEL 093-631-2203  
JR黒崎駅より徒歩1分